

問い合わせ先

海洋情報部航海情報課

課長補佐 山本 強

電話 03-3541-3820 (内線 439)



平成21年5月22日
海上保安庁

南極大陸付近の国際海図を新たに刊行します

海上保安庁では、南極地域観測により得た測量成果に基づき、昭和41年から南極大陸付近の海図の整備を進めてきましたが、このたび、砕氷艦(南極観測船)「しらせ」の新造に併せ、昭和基地周辺海域における観測業務に資するため、新たに国際仕様に基づく国際海図を刊行することにしました。

本年3月に刊行した「オングル島至ラングホブデ北岬」(分図「昭和基地及付近」含む)をはじめ、本年8月に、さらに2図を国際海図として刊行する予定です。

- 1 南極大陸付近の国際海図は、平成9年に設立された国際水路機関南極地域水路委員会のメンバー国が分担して刊行することとなっており、今回刊行する海図は我が国の担当分の国際海図として指定されているものです。(参考資料)
- 2 「オングル島東部」及び「オングル島西部」の二つの海図を包含し、さらに南方を広く包含するよう区域を変更すると共に、昭和基地周辺の拡大図を挿入して新たに刊行しました。
この海図の水深データは、観測船の測深機によるほか、南極観測隊が、氷上を雪上車で移動しつつ氷に穴を開けて、また氷の無い海域ではゴムボートで、1点1点測深した成果を採用しています。また、採用した資料を明確にするため、測量年等を表示した「資料索引図」を記載しました。(別紙1)
- 3 残り2図の国際海図(INT 9045、INT 9046)については、本年8月に刊行する予定です。(別紙2)
- 4 3月に刊行した海図は、縮尺2万5千分の1、価格3,360円(税込み)で、最寄りの水路図誌販売所で購入できます。この販売所については、海洋情報部ホームページの「水路図誌販売所一覧」をご覧ください。
海洋情報部ホームページアドレス<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOKAI/ZUSHI3/shop/default.htm>
海の相談室 電話03-3541-4296

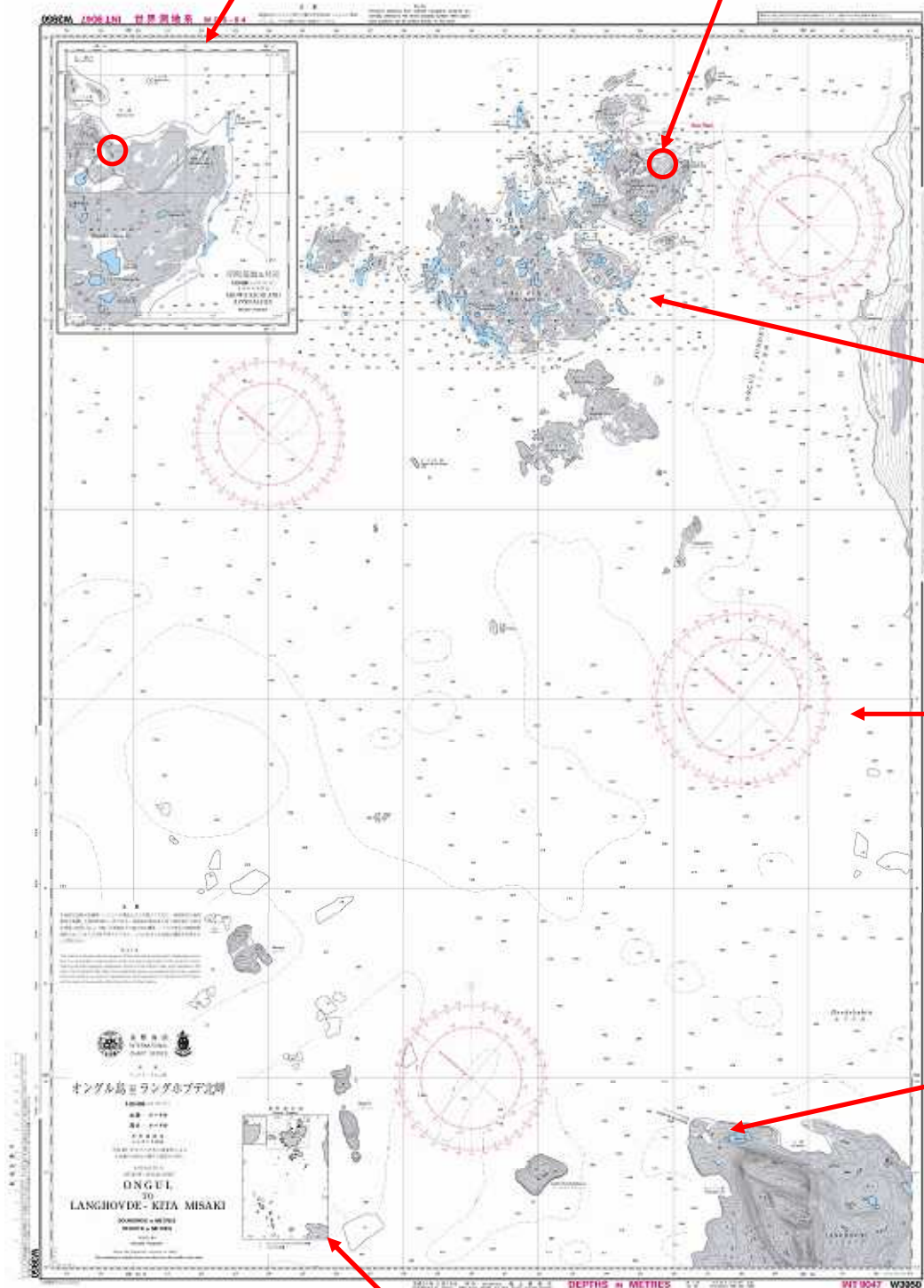
(別紙1)

「オングル島至ラングホブデ北岬」(分図「昭和基地及付近」含む) (海図番号W3950国際海図番号INT9047)

分図(昭和基地及付近)

昭和基地

平成21年3月刊行



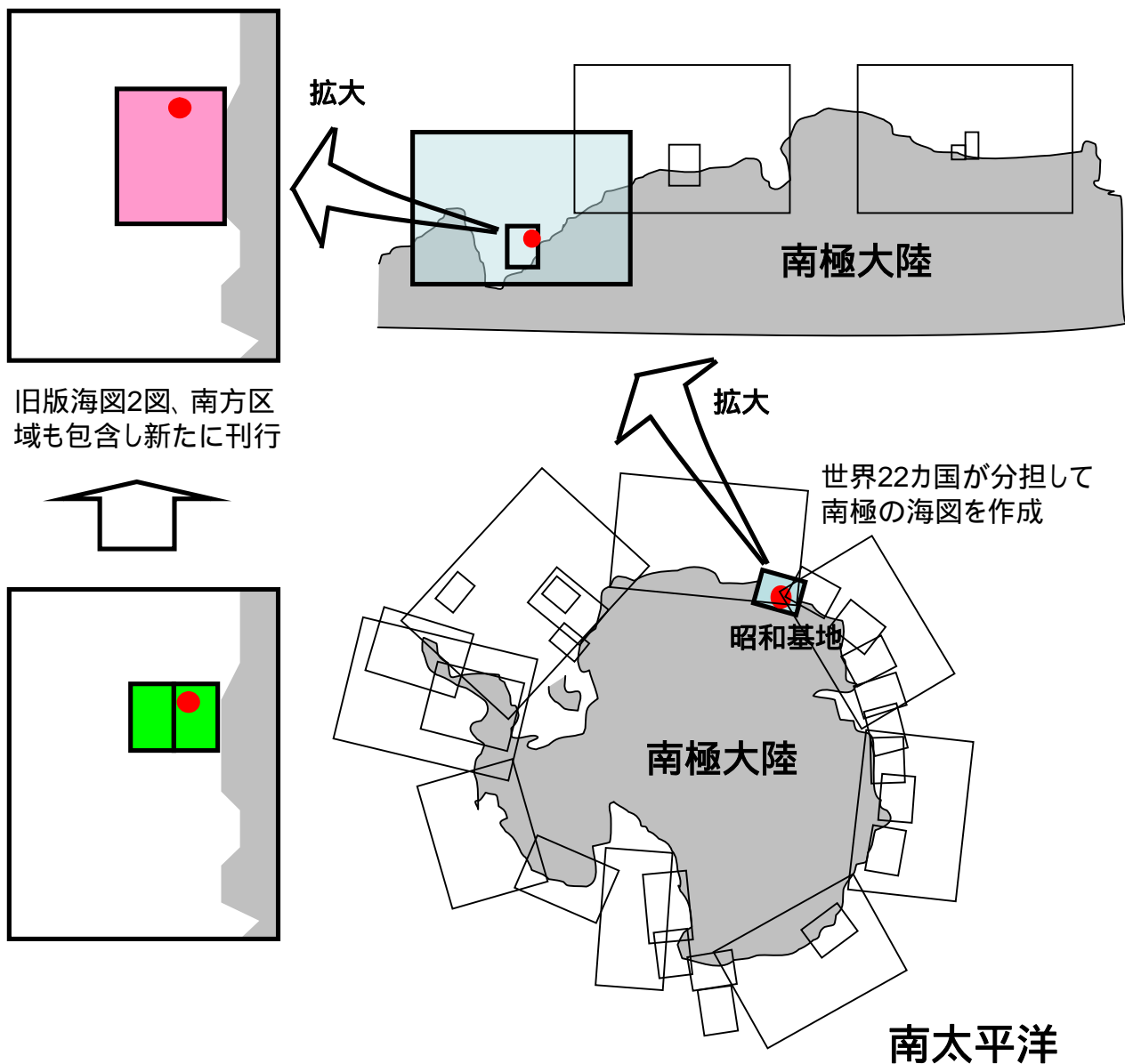
オングル島





マグネットコンパス

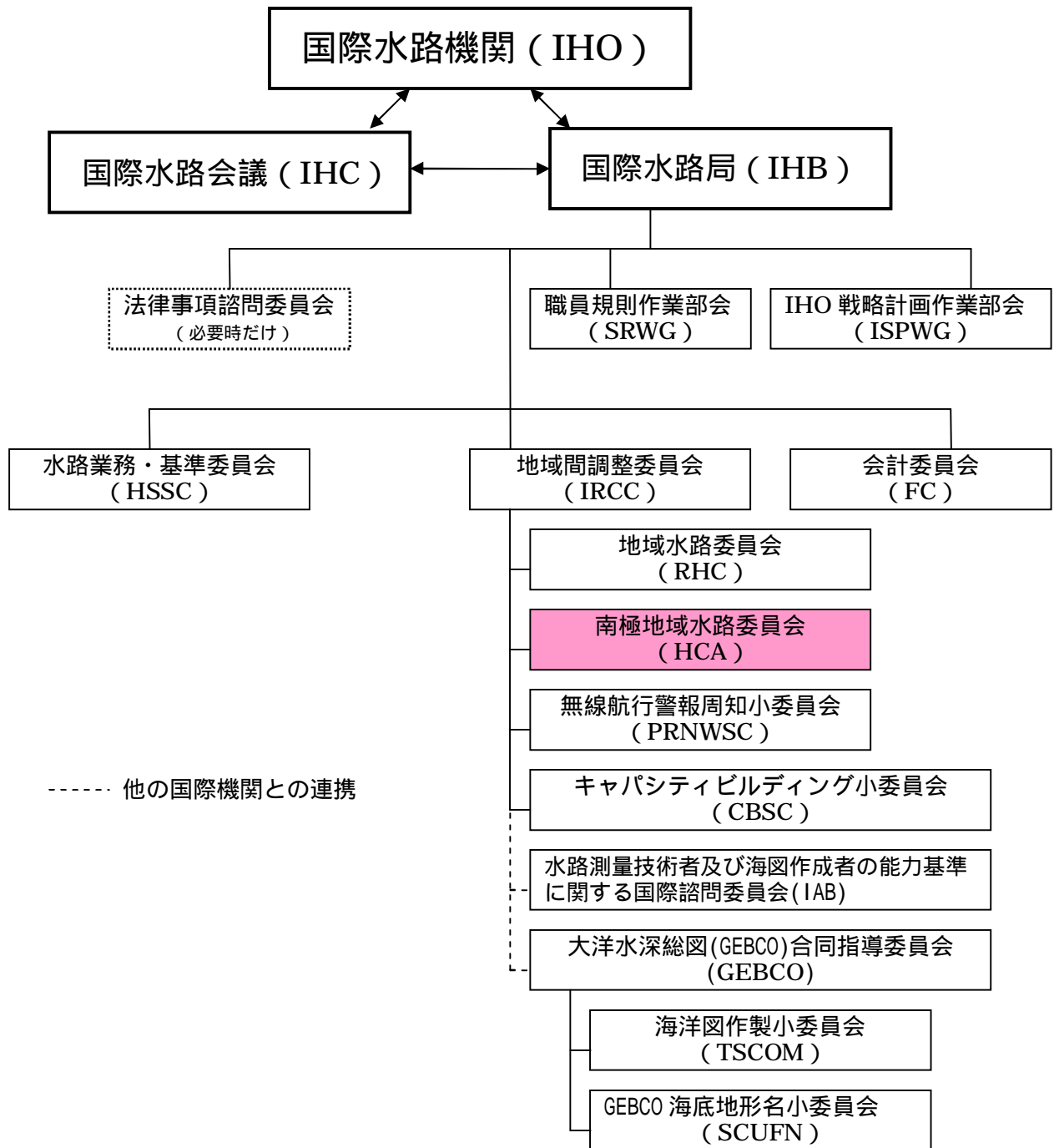
ラングホブデ北岬

測量年等を表示した「資料索引図」

南極大陸付近の国際海図 (日本の分担域)



-  新刊海図 W3950(INT9047) ()
-  旧版海図2図(今回廃版)
-  本年8月刊行予定の2図(、)
-  世界22カ国が分担して海図を作製する区域



国際水路機関 (IHO) : 航海の安全及び海洋環境の保護を支援するために1921年に設立された政府間の諮問的、技術的機関であり、現在80カ国が加盟している。

南極地域水路委員会 (HCA) : 南極大陸付近における水路業務、海洋環境保護及び国際海図の作製等を目的としてIHOに1997年に設立された。メンバー国は我が国のほかアルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、チリ、中国、エクアドル、フランス等22カ国であり、オブザーバーとして国連教育科学文化機関(UNESCO)の政府間海洋学委員会(IOC)等が参加している。

国際海図 (INTCharts) : IHOの国際海図仕様に則り、各担当国が分担して刊行している。縮尺は1/10,000,000と1/3,500,000の小縮尺海図シリーズと、より大縮尺で沿岸航行、国際貿易港への出入港に適した中・大縮尺シリーズとがある。